

コメント

1.水痘

定点当り2.50人とやや増加しており、2週続けて増加しています。西区6.3人、中区3.7人となっています。

2.感染性胃腸炎

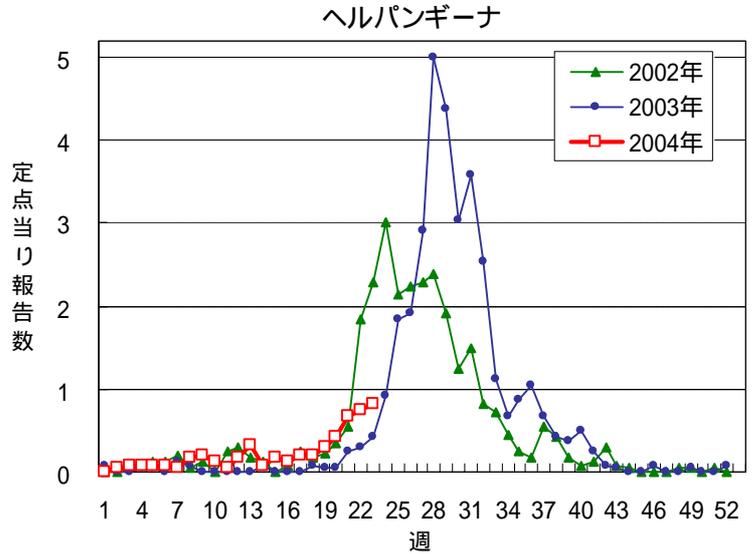
定点当り8.42人とほぼ横ばいとなっていますが、依然として例年同時期と比べ報告数が多くなっています。安芸区では22.5人と特に多く、佐伯区10.7人、中区10.0人となっています。

3.A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

定点当り1.79人とほぼ横ばいとなっています。佐伯区3.7人、東区2.7人、安芸区2.5人、西区2.0となっています。

4.ヘルパンギーナ

定点当り0.83人と報告数は多くありませんが、増加傾向にあります。流行期に向かい今後の動向に注意が必要です。



5類感染症報告状況 (定点把握対象分)

疾患名	報告数	定点当り	平均 過去4年間 (注1)	発生記号	疾患名	報告数	定点当り	平均 過去4年間 (注1)	発生記号
インフルエンザ (注2)	3	0.08	-		麻疹(注3)	-	-	0.16	
咽頭結膜熱	17	0.71	0.25	↘	流行性耳下腺炎	16	0.67	1.33	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	43	1.79	1.26	→	RSウイルス感染症	-	-	/	
感染性胃腸炎	202	8.42	3.71	→	急性出血性結膜炎	-	-	0.10	
水痘	60	2.50	2.27	↘	流行性角結膜炎	6	0.75	1.29	
手足口病	4	0.17	2.70		細菌性髄膜炎	-	-	0.14	
伝染性紅斑	23	0.96	0.44	↘	無菌性髄膜炎	-	-	0.39	
突発性発疹	18	0.75	1.22		マイコプラズマ肺炎	2	0.29	0.36	
百日咳	-	-	0.01		クラミジア肺炎 (注4)	-	-	-	
風疹	-	-	0.02		成人麻疹	-	-	-	
ヘルパンギーナ	20	0.83	1.62	↘					

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1.2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1.1.5～2の増減
微増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1.1.1～1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

一時的な変動と考えられる場合は、前週との比較ではなく傾向を示しています。また報告数が少なく傾向の判断が不適切と思われるものについては、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数 37 (小児科定点含む)
小児科定点数 24
眼科定点数 8
性感染症定点数 9
基幹定点数 7

(注1) 過去4年間の同時期平均 (定点当り)
(注2) 高病原性鳥インフルエンザを除く
(注3) 成人麻疹を除く
(注4) オウム病を除く

1類～5類感染症報告状況 (全数把握対象分)

報告はありません。

5類感染症報告状況の推移 (定点把握対象分)

報告数	定点当り	週	インフルエンザ (注1)	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻疹 (注2)	流行性耳下腺炎	RSウイルス 感染症	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (注3)	成人麻疹
広島市	第19週	21	6	26	173	35	1	7	8	-	1	7	-	5	-	-	-	4	-	-	-	-	-
	第20週	51	13	48	191	43	3	17	14	-	-	10	-	8	-	-	1	-	-	-	-	-	
	第21週	12	29	47	233	34	-	10	20	-	-	16	6	4	-	-	10	-	1	1	-	-	
	第22週	12	24	45	220	46	3	18	24	-	-	18	-	8	-	-	6	-	1	2	-	-	
	第23週	3	17	43	202	60	4	23	18	-	-	20	-	16	-	-	6	-	-	2	-	-	
広島市	第19週	0.57	0.25	1.08	7.21	1.46	0.04	0.29	0.33	-	0.04	0.29	-	0.21	-	-	0.50	-	-	-	-	-	
	第20週	1.38	0.54	2.00	7.96	1.79	0.13	0.71	0.58	-	-	0.42	-	0.33	-	-	0.13	-	-	-	-	-	
	第21週	0.32	1.21	1.96	9.71	1.42	-	0.42	0.83	-	-	0.67	0.25	0.17	-	-	1.25	-	0.14	0.14	-	-	
	第22週	0.32	1.00	1.88	9.17	1.92	0.13	0.75	1.00	-	-	0.75	-	0.33	-	-	0.75	-	0.14	0.29	-	-	
	第23週	0.08	0.71	1.79	8.42	2.50	0.17	0.96	0.75	-	-	0.83	-	0.67	-	-	0.75	-	-	0.29	-	-	
全国	第21週	0.05	0.43	2.04	5.44	1.89	0.21	0.55	0.78	0.02	0.07	0.59	0.02	0.82	-	0.02	0.86	0.02	0.02	0.22	0.01	-	
	第22週	0.04	0.56	2.19	5.44	2.15	0.28	0.73	0.80	0.01	0.07	0.98	0.02	0.74	-	0.02	0.91	0.01	0.03	0.27	0.01	-	

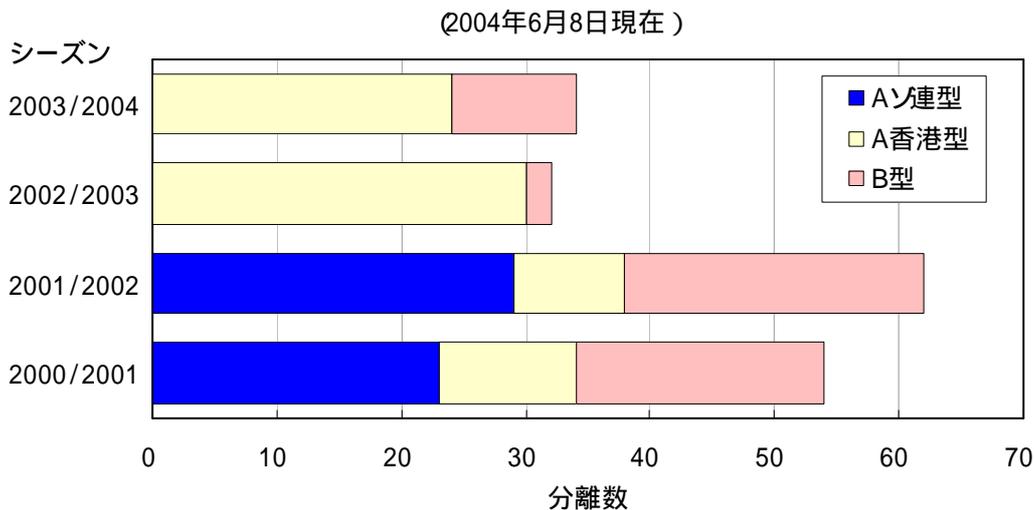
(注1)高病原性鳥インフルエンザを除く (注2)成人麻疹を除く (注3)オウム病を除く

新たに判明した病原体検査結果

診断名	患者年齢	性別	発症年月日	検査材料	検出病原体
感染性胃腸炎	8	不明	2004/04/27	糞便	ロタウイルス (A群)
気管支肺炎 扁桃炎	1	男	2004/04/25	咽頭拭い液	アデノウイルス3型

【参考】広島市におけるインフルエンザウイルスの分離状況

衛生研究所に搬入された検体のウイルス検査結果によると、2003/2004シーズンは、2シーズン連続してA香港型とB型との混合流行となりました。B型はインフルエンザの流行がほぼ終息した4月に検出されました。



本週報は、インターネットでもご覧いただけます。

URL <http://www.city.hiroshima.jp/shakai/eiken/center.html>

なお、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

この情報の詳細に関するお問い合わせ先

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号

TEL(082)277-6575 FAX(082)277-5666 E-Mail eiken@city.hiroshima.jp

2004年第23週 (5月31日～6月6日)